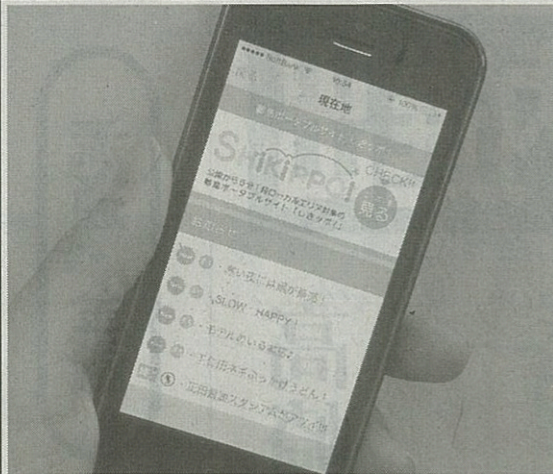


(9) 2014年(平成26年)2月20日(木曜日)



ウェブ版の「ポータルサイト」

県内異業者3社が連携

地域活性化情報アプリ運営へ

県内の異業者3社が連携し、地域活性化を切り口としたスマートフォン向け情報アプリ「Portable site (ポータブルサイト)」を開発した。タッグを組んだのは経営・財務コンサルティングのプランニング・スタッフ(沼田市下之城町、原澤宏治社長)とシステム開発のろけっと開発(前橋市本町、宇田川利明社長)、施設管理などを手掛けるオリエンタル群馬(前橋市千代田町、中埜智親社長)の3社。近く「App Store」を通じて配信サービスを提供するほか、「Google Play」でも提供する。当面は前橋および利根・沼田地域の情報配信に注力していく方針で、スマホ時代の新たな地域活性化策として注目を集めそうだ。

アプリのベースとなったのはポータルサイト「Portable site」だ。一時はポータルサイトのような形を想定したが、10年ほど前に考案し、提唱を続けてきた「地域活性化支援システム」が、さまざまな地域・サイトが立ち上がる中、立ち上げを保留。スマホの爆発的な普及により、機材は熟したと判断し、以前から親交のあったろけっと開発と共同開発に取り組みとともに、今後、地域活性化に力を入れていく。

当面は前橋、利根・沼田地域を強化

くオリエンタル群馬も加わり、アプリを運営する運びとなった。アプリ(ダウンロード無料)は、スマホに備え付けの位置情報システムと連動しており、立ち上げると、地域の行政や店舗、教育などの情報が閲覧できる。

一方、加盟店側は月額ゼロ円〜1万円程度の間で、ランク分け。有料会員はアプリ上で上位表示されるなどのメリットがあるほか、タブレットを無料配布する計画などもあり、PR動画を作成し、店先で放映することなども可能になる。

また、将来的にはアプリ内でさまざまなイベントを実施し、一般ユーザー向けの課金サービスも提供。得られた収益は、地域活性化に生かし、関係各社がWIN-WINの関係となるよう配慮するシステムとなっており、すでに埼玉や岩手、宮城県の行政や民間有志からも問い合わせが来ている。

プランニング・スタッフの原澤宏治社長の話。まずはこのアプリを使って地域が盛り上がっている事例を作りたい。地域事務局になってもらうところを探すなどの課題はあるが、アプリが盛り上がってくれば、手を挙げられる人も増えてくるはず。当面は前橋と利根・沼田地域で軌道に乗せられたい。